

定例自然観察会報告書

令和3年12月22日

12月定例自然観察会「冬の里山ハイキング」

5班 倉本敏明

実施日 2021年12月11日(土) 9:30 水源池バス停集合

コース 水源池～鍋蓋山～再度公園～蛇ヶ谷～市ヶ原～新神戸駅

参加者：ビジター10名、会員 5名 計15名 + 「5班班員16名」

自主研修会時の参加者(21名) + 「5班班員15名」

今回の定例自然観察会はコロナで止む無く休止をしていたため、1年10か月ぶりに再開出来ました。当日は晴天に恵まれ水源池バス停駐車場へ9時30分に集合、班は5班に分け(1班2～5名)をして参加の皆さんへコロナ対策等諸注意をお願いした後、スタートしました。

水源池から鍋蓋山への山道は12月で紅葉も過ぎ、タカノツメ、コシアブラの黄葉やかわいいハゼの紅葉が見られ谷間などにはイロハモミジやハハソモミジなど紅葉、黄葉が残っており、逆光に輝く風景が一瞬のやすらぎとなったのではないかと思います。

鍋蓋山に続く尾根筋ではコウヤボウキ、ヤマハゼ、ウラジロノキなどの花芽や冬芽が見られました。

(鍋蓋山：標高486m)頂上からの眺望は晴れていれば、南は淡路島、東は生駒連山が見渡せますが、当日は薄く雲がかかり淡路島は見えましたが生駒方面は見えず少し残念でした。尾根筋は風も少なく六甲山縦走コースと重なっていたため多くのハイカーと出会いながらの観察でした。12時過ぎには再度公園に到着し昼食を取り、ビジターの方へ会からの次回の案内や入門コースの紹介が行われました。13時前後に再度公園を班毎に出発、蛇ヶ谷コースを通り市ヶ原へ、蛇ヶ谷ではモミジの絨毯の上を歩き谷間の黄葉やアオキの赤い実などを楽しみました。新神戸駅がゴールのため市ヶ原からは殆どハイキングスピードとなりました。途中、布引ダム周辺で野鳥観察、布引の滝を見つつ樹木観察を交えながら無事に新神戸駅へ14時40分～15時に到着、班毎にあいさつの後、解散となりました。

定期観察日が12月初めで季節が初冬、観察下見で在った葉や花、実、また紅葉が進み、見頃としていたものが期待外れになってしまった感がありました。しかしビジターの方には初冬の鍋蓋、六甲の山をそれなりに楽しんで頂けたのではないかと思います。新神戸駅でビジターの方の「また参加したい」という言葉に救われたと思っています。



水源池近辺



水源池から鍋蓋山へのコース

当日の観察項目

- 1) **常緑樹** アオキ、アカガシ、アセビ、イタビカズラ、アラカシ、ウバメガシ、カゴノキ、カナメモチ、カヤ、キンモクセイ、サンゴジュ、シラカシ、シロダモ、ソヨゴ、ツバキ、テイカカズラ、トウネズミモチ、ナナミノキ、ネズミモチ、ヒサカキ、ビワ、ヒノキ、フユイチゴ、マサキ、マテバシイ、ムベ、ヤツデ、ヤブニッケイ、サネカズラ、スイカズラ、マンリョウ、センリョウ、ヤブコウジ、
- 2) **落葉樹** アオツツラフジ、アカメガシワ、アキニレ、イチョウ、イヌザンショウ、イヌビワ、ウリカエデ、ウラジロノキ、エゴノキ、エノキ、オオバヤシャブシ、カキノキ、カツラ、ガマズミ、カマツカ、カラスザンショウ、カンサイスノキ、キリ、クサギ、クマノミズキ、クロモジ、ケヤキ、コアジサイ、コウヤボウキ、コガクウツギ、コツクバネウツギ、ゴンズイ、サルトリイバラ、シナサワグルミ、シラキ、タカノツメ、タムシバ、タラノキ、ツリバナ、ナガバモミジイチゴ、ナツハゼ、ネジキ、ヌルデ、ノグルミ、ノブドウ、ハゼノキ、ヒメコウゾ、ホオノキ、マルバアオダモ、ミツバアケビ、ミヤマガマズミ、ムクノキ、ムラサキシキブ、ヤマハゼ、ヤマウルシ、ヤマコウバシ、ヤマボウシ、リョウブ、クコ、ノイバラ、キウイ
- 3) **山野草** アキノキリンソウ、アメリカセンダングサ、イヌコウジュ、オトコエシ、キチジョウソウ、クワクサ、コヤブタバコ、ジャノヒゲ、センニンソウ、ハダカホウズキ、ヒヨドリバナ、ミズヒキ、メナモミ、ガンクビソウ、ホタルカズラ、ツルリンドウ、ミツデウラボシ、ヤクシソウ、イタドリ、ツルアリドオシ



再度公園



市ヶ原